



「さんようどう やかげしゆく」 山陽道矢掛宿

◆活動団体

団体名：備中矢掛宿の街並みをよくする会

連絡先：TEL0866-83-3318

メール：t.asano@sky.plala.or.jp

URL：

◆活動内容

- ・夢街道ルネサンス認定地区に伴う活動
- ・美化活動花いっぱい運動
- ・重要伝統的建造物群保存地区選定に向けての活動
- ・無電柱化に向けての活動
- ・郷土を愛し誇りの持てるまちづくり活動

H28年度

H28年

- 4月5日 街並み古民家写真配布
- 4月13日 備中町並みネットワーク定例会（於：浅口市金光町）
- 4月14日 備中まると博物館プレゼン（於：備中県民局）
- 6月9日 備中街並みネットワーク定例会（於：備中県民局）
- 6月27日 すまいのまちなみネットワーク総会（於：東京）
- 7月11日 知事と一緒に生き生きトークに参加
（於：倉敷芸文館）
- 8月10日 備中町並みネットワーク定例会（於：備中県民局）
- 8月28日 倉敷伝建地区をまもり育てる会に参加
（於：倉敷市新溪園）100人
- 10月28日 東かがわ市より市民団体の皆様が研修に来町
- 10月31日 花苗配布（葉ボタン3株）120軒配布
- 11月3日 町家クラス矢掛会場 柚餅子説明と試食、
宿場の落語会 吊るし柿作り 50人
- 11月13日 街並み児童写真展 100人
大名行列協賛 30,000人
- 12月3日 備中・町並みゼミ浅口大会
（於：金光町やつなみホール）200人
- 12月11日 備中神楽堪能会（於：農村改善センター）450人

H29年

- 1月29日 山城シンポジウム（於：農村改善センター）280人
- 3月5日 備中お菓子博（於：矢掛商店街）200人
- 3月11日 すまいのまちなみネットワーク運営委員会（静岡）
- 3月23日 花苗配布（パンジー4株）120軒配布
- 3月26日 宿場町やかげ流しびな 流しびな行列
街道アートフェスタ 10,000人



町家クラス矢掛会場 「干柿作り」



街並み児童写真展



大名行列



備中神楽堪能会



山城シンポジウム



苗箱配布

岡山県・旧山陽道
宿場町やかげ
流しびな
第十一回

日本初の流しびな行列は
おんな(おんな)の幸せを願って
流しびな行事は子供から
お年寄りまで、すべての人を
笑顔にする、おんな(おんな)の幸せを
願って行っています。

平成二十九年三月二十六日(日)
小雨・本降
第一部 流しびな行列(本降・本降通り)
午前11時
午後1時
第二部 流しびな行事(小田川・弦橋西河原)

主催：宿場町やかげ流しびな行列実行委員会
実行委員会：やかげ町家交流館、やかげ女性連絡協議会
かげ中華会、かげ町家交流館、かげ町家交流館ボランティア部
矢掛町地産おこし協力隊、矢掛町みまもり人
矢掛高等学校校長、若柳町長、若柳町教育委員会
備中中央地域の施設および各町会
宿場町やかげ流しびなの会

後援：国土交通省岡山山陽事務所、岡山県備中県民局
矢掛町、矢掛町教育委員会、矢掛町文化協会
やかげ郷土会館

流しびな

やかげの流しびな行事

流しびな行列
場所：本降・弦本降通り
時間：11:00~12:30
宿場町におきまして「流しびな
行列」後継者として幼・小・中・高
生が加わり、おんな(おんな)の幸せを
願って行われます。

ひな飾りの公開
歴史のおある宿場町の町並みで、
古い商家に広がる「ひな飾り」を
2月家から公開しています。

なりきりアート!
おんな(おんな)の幸せを願って
場所：本降新付近
対象：小学生以下
(着物が合えばどなたでも)
衣装を着てかわいいおんな(おんな)さまと
おんな(おんな)さまに大变身！本降町の歴史
写真をその場で撮ります。

写真コンテスト
皆さんから流しびな行列・流
しびなに因んだ写真を大募集し
ています。
応募用紙は、流しびな会館に
あります。またハットリの係員も
持っています。
日時、郵送も可。書いてご応募
ください。0866-82-0025

写真コンテスト発表会
※会場：矢掛まちかどギャラリー ※会場：3月1日(日) 10時

お問い合わせ先 宿場町やかげ流しびな行列 実行委員会 TEL(0866)82-0025
〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町美穂 2638 (シャティ/サツタ屋/矢掛店内)
ホランティオスタッフ島東守

H28
12/4

観光ガイドに挑戦

矢掛小6年生 町中心部で魅力紹介

旧本陣の前で観光ガイドをする矢掛小の児童



宿場町の風情を残す矢掛町中心部の町並みで2日、矢掛小学校(同町矢掛)の6年生約30人が観光ガイドを体験

した。総合学習の一環で、郷土愛を深めようと毎年実施。6月から商店街をフィールドワーク

して観光スポットをピックアップし、郷土史に詳しい地元住民らにインタビューしたり資料を調べたりして知識

を身に付けてきた。

この日、子どもたちは旧本陣、脇本陣(いずれも国重文)をはじめ、老舗和菓子店の前で、地域住民や観光客らに魅力を紹介。「本陣と脇本陣の両方が残るのは全国でも矢掛だけ」「商店街で毎年開かれる大行列は、台風被害を受けた町に元氣を取り戻そうと始まった」などと説明していた。

三宅瑠依さんは「調べていくうちに、今まで知らなかったことを発見できてよかった」と話していた。

(岸研一)